

対象国の条件: バイオマス利用技術

研修コース番号: 201984922-J002

案件番号: 201984922

主分野課題: 資源・エネルギー/再生可能エネルギー

副分野課題:

使用言語: 英語

案件概要

バイオマス利活用に関して中核的な役割を担っている行政官及び研究者を対象とし、バイオマス資源・利用技術・システムに関する講義・実習、及びバイオマス利用の現場視察を通じて、自国での効果的なバイオマス利用計画を策定することを目指す。バイオマスの先進的な取り組み事例を豊富に有する中国地方のリソースを活かした実践的な研修内容とする。

目標/成果

対象組織/人材

【案件目標】

参加者がバイオマスの賦存量および利用可能量を把握し、最も効果的なバイオマス資源の利用計画を立案するための手法を修得するために、以下のことを達成する。

- (1) 各種バイオマス資源について理解する
- (2) 各種バイオマス利用技術について理解する。
- (3) バイオマス利用システムの設計を実施する。

【成果】

<事前活動>

ジョブ・カンントリーレポートが作成される。

<本邦活動>

単元目標1: 各種バイオマス資源について説明できる。

単元目標2: 各種バイオマス利用技術について説明できる。

単元目標3: バイオマス利用システムの設計を実施できる。

単元目標4: 本邦研修で学んだことを自国で具体的に活用する計画（アクションプラン）を作成する。

<事後活動>

アクションプランを所属組織と共有し、実施状況を報告する。

【対象組織】

【対象組織】

バイオマス利用に関する計画策定・推進・実施に携わる行政機関、及びバイオマス利用研究を行っている研究機関

【対象人材】

【資格要件_職位】

- (1) バイオマス利活用の企画・推進・実施を担当する行政組織に所属する者
- (2) 政府機関におけるバイオマス利用の研究者

【資格要件_職務経験】

バイオマス利活用に関して3年以上の経験を有する者。

内 容

- 自国のバイオマス利用にかかる状況及び所属機関の役割を説明したジョブ・カンントリーレポートを作成する。
- バイオマスの資源の種類を知り、その組成、分類、特性、収集についての知識を理解する。
- 物理的変換、熱化学的変換、生物化学的変換の各変換技術の原理、特長、効率、技術の現状についての知識を理解する。
- バイオマスを利用するシステム設計を行う。
- 物質収支、エネルギー収支に基づいてシステムを構築し、さらに、システム評価を実施する手法を理解する。
- 本邦研修で学んだことを自国で具体的に活用する計画（アクションプラン）を作成する。
- 帰国後、アクションプランを所属先で共有し、その実施状況について帰国後3か月以内に報告する。

本邦研修期間

2020/1～2020/2

担当課題部

産業開発・公共政策部

所管国内機関

JICA中国

関係省庁

実施年度

2018～2020

主要協力機関

広島大学

**特記事項
及び
ホームページ**